

# 国土交通省 東北地方整備局 との意見交換会

広報委員長 **高橋 克実**

## 1. はじめに

東北地方整備局と当協会の意見交換会が、平成25年2月5日(火) 13:30～15:00に宮城県建設産業会館7階会議室にて開催されました。その内容を以下にご報告いたします。

## 2. 出席者

東北地方整備局からは、企画部長 森吉尚様、技術調整管理官 伊藤友良様、技術開発調整官 國松廣志様、河川情報管理官 佐藤慶亀様、道路調査官 宮田忠明様、技術管理課長 加藤信行様、技術管理課建設専門官 平山孝信様の7名がご出席されました。

当協会側からは早坂理事長、奥山副理事長、大友理事、新田理事、蓑 理事、熊谷理事、坂本理事、高橋理事、奥山理事、菅野理事、村上事務局長、高橋の12名と記録

係として真坂広報委員、羽生田広報委員、大沼広報委員が出席しました。

## 3. 主な内容

平山技術管理課建設専門官に司会をご担当していただき、冒頭の挨拶で、森 企画部長から「復興を含めた事業の進め方として、地域が復旧・復興の実感を得るような施策とスピード化に努めることはもちろんであるが、一過性のものとはしないで復興2年目の今年からは、中長期的な視点を含めて、円滑かつ迅速、地に足の付いた事業の進め方を考えており、建設業界・地質調査業全体の再生に向けた元年にしたい」との力強いお言葉をいただきました。早坂理事長からは、「震災前の公共事業の減少等により当協会の会員数がピーク時の半数となっている実状と東日本大震災関連の復旧・復興業務を遂行する地質調査技士やポーリン



ご挨拶をされる 森 企画部長とご臨席の東北地方整備局各位

.....

グマシンが不足している現状をご理解いただき今後の発注業務を見通しつつ、より良い品質の確保とより早い完成を目標とするため、東北地方整備局様から率直なご意見を賜りたい」と挨拶しました。その後、出席者の紹介、東北地方整備局様から事前に準備していただいた配布資料の内容説明、当協会から活動紹介等の情報提供があり、意見交換に入りました。意見交換は当協会側でお願いした以下の4つの議題に沿って行われました。

- ①地質調査技術の有効活用について
- ②地質調査の適切な発注について
- ③復興事業の今後の予定について
- ④その他

議事内容の概要は以下のとおりです。

地質調査技術の有効活用については、当協会の会員は、東日本大震災を経験した東北地方の各地域の地盤状況に精通し、

東北地方特有の土砂災害の原因となる地質リスクを抽出する技術を有しており、設計・施工や維持管理段階で、地質技術者がアドバイザーとして参画できる業務形態や、調査・設計JVへの適用拡大など、地質調査技術の活用を求めました。これに対し、地質情報を事前を知ることは重要であり、設計段階で行う合同現地調査に地質技術者を参加させることや、発注者・施工者・設計者による三者会議への地質技術者への参加も検討するとの回答をいただきました。調査・設計JVについては、可能な限りJV参加が出来るようなかたちで要件を広く設定おり、是非活用して欲しいとの回答がありましたが、異業種の設計JVの場合、業務終了後の成績が主たる業務(例えば設計業務)としての成績となり、地質調査としての成績とはならないとの課題もご提示いただきました。地質調査の適切な発注については、コン



会場での意見交換会の様子

.....

サルタント業務等の発注状況や、分離発注の継続を求めました。情報提供として事前に準備された資料をもとに現状を詳しくご説明いただきましたが、履行確実性審査により調査基準価格を下回る低落札は減少していること、分離発注については、実態として合併発注に比べ分離発注の割合が多いこと、今後も継続していくとの回答をいただきました。

復旧事業の今後の予定については、早坂理事長の挨拶にあったように、地質調査技士やボーリングマシンが不足している状況から、調査作業の平準化に向けての早期発注や業務規模に応じた十分な履行期間の設定、工期・納期の延長等の柔軟な対応を望みました。これに対しては、平成23年度から履行期間が年度末に集中することを避けるよう各事務所をお願いしており、品質確保の面からも、発注時期や履行期間の適

切な設定を実施するよう、今後も、計画的な発注に努める考えであることを示していただきました。

その他では、設計・積算における条件明示や数量表の明示などの要望事項、災害協定にもとづく会員の活用など、フリートーキング形式で前向きなご見解とご意見をいただきました。

#### 4. 謝 辞

当協会との意見交換会を快く承諾され、司会や会場の提供、資料作成などの多大のご協力をいただいた東北地方整備局の関係各位に厚く御礼申し上げます。また、記録・写真係を担当された真坂委員、羽生田委員、大沼委員の広報委員各位に心より感謝いたします。